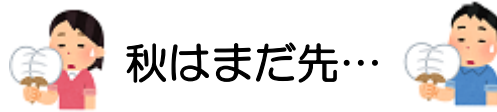


# 図書館だより No.5

令和5年9月  
大洲中学校図書館



秋はまだ先…

もう9月だというのにまだまだ暑い日が続いていますが、みなさん、体調はいかがですか？この暑さ、10月に入っても続く可能性がじゅうぶんあり得るとのこと。もう勘弁してほしいですね。さてみなさん、大洲中学校の図書館には何冊ぐらい本があると思いますか？何と約13,000冊の本があるんです。意外と多いですよ？この夏休みに図書館の蔵書点検を行い、その作業を終えてから貸出図書数等のデータを調べてみました。すると驚きの結果が判明しました。一学期間中にたくさん本を借りた生徒Best3は

・第一位 1年生女子 98冊 ・第二位 1年生女子 53冊 ・第三位 2年生女子 46冊

となりました。一学期の実質的な貸出期間は3か月ですから、第三位の46冊でもひと月に15冊は読んでいる計算になります。1か月15冊ってことは2日間で1冊のペースということですよ。とても素晴らしいことだと思います。これから読書の秋を迎えます。みなさん、二学期からもまたたくさん本を借りに来てくださいね。

## 新着図書のお知らせ

夏休み期間中に新たに購入した本が届きましたので、その中の一部を紹介します。



『成瀬は天下を取りに行く』 宮島未奈 著 新潮社

中2の夏休みの始まりに幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るといふ。さらにはM-1に挑み、実験のため坊主頭に…。関西のお笑いコンビミルクボーイが小説の書評を担当したり、また小説の中にも登場するなど何かと話題の小説で、そのためか発売前重版が決定するなど超話題沸騰のいまだかつてない青春小説。  
(新潮社公式サイト、他より)



『民王(たみおう)』 シベリアの陰謀 池井戸潤 著 角川書店

高西環境大臣が人を狂暴化させる謎のウイルスに感染した。陰謀論者の台頭で危機に陥る第二次武藤泰山内閣。ウイルスはどこからやってきたのか。泰山は国民を救うべく緊急事態宣言を発令し事態の収拾を図るが、世論の逆風が吹き荒れる。一方、泰山の息子の翔は仕事で訪れた大学の研究室で“狼男化”した教授に襲われる。大臣と教授には共通点が…!? 泰山は、翔と秘書の貝原らと共にウイルスの謎に迫る!!  
(角川書店公式サイトより)

ここでは紹介しきれなかった魅力溢れる新着本が、図書館にはたくさん展示してあります。涼しい図書館で、素敵な本に囲まれた楽しいひと時を過ごし下さいね。お待ちしております。